



今号では、県内の生涯学習・社会教育関係団体の活動を紹介します

## 社会情勢が変わればボランティア活動も変わる

生涯学習ボランティアグループ ヤッホーの会会長 大石 貴志子



平成8・9年に開催された県主催「ボランティア活動入門・ボランティアコーディネーター養成講座」の受講生が、更なる学習と活動を目指して平成9年にヤッホーの会を設立しました。

生涯学習ボランティア活動の指針を“時の社会情勢の中で地域住民の生活に関する課題は何か”として取り上げ、それぞれの専門分野の方と研修を重ね、学んだことを各地域に還元することと、地域の生涯学習の支援やボランティア活動の推進を会のねらいとしました。

また、変貌する社会情勢の中で今後ますますボランティア活動の必要性を実感し、秋田県内のボランティア活動の状況と、次世代の育成についてどう取り組んでいるかを知ることも必要であると感じました。

平成12年には、秋田県内の生涯学習ボランティア活動に関する教育委員会・公民館等の取組の実態を調査しました。また、15年には秋田県内小・中学校で行っているボランティア学習やボランティア体験についての調査を全県の学校に行いました。いずれも調査結果のまとめと分析をし、今後のボランティア活動の在り方について県民のみなさんと共に研修をしました。またこの時期には、高校生を対象に「青少年のためのボランティア講座」や「生涯学習ボランティア活動」の講座を開催しました。その結果、ボランティア活動への参加者も増えてきました。

時が変わり現在、超高齢化・少子化・総人口の減少・福祉介護等の課題が山積し、地域住民も健康長寿に関心が深まり、そのニーズに添ってのボランティア活動となりました。

24年10月には、角館交流センターで「薬の出来るまで・毒も薬・薬も毒」と題した講座（講師：元昭和医療技術専門学校講師・理学博士 湊貞正氏）を開催し、続いて25年9月「上手な診断の受け方」として県生涯学習センターでも湊貞正氏の講座を開催しました。参加者からは多くの質問が出され、健康長寿に関する関心度の高さが感じられました。

さらに26年7月27日、県生涯学習センターで「人と人のつながりを考える～ボランティアPart2～」と題した講座（講師：秋田大学大学院准教授 佐々木久長氏）を開催しました。福祉・介護分野の人材確保や高齢化社会の生活保障の補助としてのボランティア活動の在り方について、参加者からたくさんの意見や質問を頂きました。

ヤッホーの会では今後ますます必要とされるボランティア活動について、変貌する社会情勢を見極め、ニーズに添った活動を心掛けていきたいと思ひます。



# 「横手市社会教育委員の会」の活動について

横手市社会教育委員の会 委員長 中安 則光



横手市の社会教育委員は、合併前の8市町村からそれぞれ2名（男性1名、女性1名）、小・中学校の先生方の代表2名、そして学識経験者3名の21人が委嘱されていて、公民館運営審議会委員も兼ねて活動をしています。

横手市・平鹿郡当時から、社会教育委員の会、生涯学習奨励員協議会、公民館連絡協議会、社会教育主事等協議会の四団体が合同の研修会を開催しており、情報の共有を図りながら、地域一体となって社会教育の推進を図ってきました。

このような取り組みは合併後も継続され、社会教育関係者が一堂に会しての研修会は社会教育の発展に大きな力となっています。

合併後、市では合併前の市町村ごとに「生涯学習センター」を設置しており、それぞれの地区の生涯学習推進の拠点として、センター自体の活動の展開と共に、公民館活動の共催や学習者の支援など、多岐にわたる事業内容で先導的役割を担っています。毎月発行される「センター報」も各種事業の周知に大きな役割を果たしていますし、近年は、近隣のセンターとの共催事業を増やし似通った事業の一本化や参加者の増加にも努めています。

今年度は、合併後の第2次生涯学習推進計画の3年目の実践をしています。年次計画を確実に実行していくために、第1次推進計画の時から「評価委員会」が設置されており実際に事業の現場に出向いて評価をしてもらっています。ここでの評価は社会教育委員会議で報告され、生涯学習センターからの活動報告と合わせ、社会教育委員の会が全市の生涯学習活動に気配りできる仕組みとなっています。

市では公民館の交流センター化と指定管理者制度の導入を進めており、これまでの公民館との違いがどのように出てくるか、注視していかなければなりません。

同時に社会教育委員のあり方も変わってくるものと思われ、今後の社会教育の推進に向けて、どのような方向性を持てば良いのかも重要な課題となってくると考えています。



## 個性を生かした奨励員活動

上小阿仁村生涯学習奨励員協議会 会長 齊藤 進

当協議会は、お隣の北秋田市と北秋地区生涯学習奨励員協議会を組織しており、大半の活動を合同で実施しております。

毎年“地区研究大会”と“大人と子どもの生涯学習サポートDAY事業”を主となる事業として位置付け、活動を行って参りました。協議会内の奨励員は個性豊かで様々な特技や趣味を持っていますので、それらを地域の大人や子どもへ伝えることのできるような事業を実施しております。

昨年度のサポートDAY事業では、協議会奨励員の中にいるお茶の先生を講師として子ども茶道教室を開催しました。茶道教室とはいっても1日限りのものですので、あまり堅苦しくせず気軽にお茶を楽しめるような内容です。当日は多くの保育園児や小学生の参加があり、最初は会場の雰囲気緊張した様子でしたが、お茶が出されると、講師の作法を真似しながらリラックスした様子でお茶を楽しんでおりました。また、参加した奨励員の中にも茶道初体験の方が多く、子どもたちと一緒に作法について学ぶことができました。

このように決して大きな事業ではありませんが、普段はあまり体験しないような活動に挑戦するきっかけ作りができるような内容になっております。

これまでも茶道の他、料理教室や昔あそび体験などの事業を実施してきました。当協議会には写真、山野草、山歩き、川遊び、太鼓などまだまだ多くの達人がおります。今後も奨励員の特技を生かし、地域住民へ伝えるとともに、奨励員自身も共に学ぶことができる楽しい活動となるよう努力したいと思います。



あきたの生涯学習—まなびピア21— 第48号（平成26年10月1日）

編集・発行／秋田県生涯学習センター 〒010-0955 秋田市山王中島町1-1

(TEL) 018-865-1171 (FAX) 018-824-1799 (E-mail) sgcen002@mail2.pref.akita.jp

まなびサポート秋田  
<http://lifelong.akita-kenmin.jp/>

秋田県生涯学習センターWebサイト  
<http://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/>

行動人Webサイト  
<http://lifelong.akita-kenmin/koudoubito/>

